



平成30年度 農村環境の未来を考える研修会 vol.11 開催

平成30年10月31日(水)、山口ゆめ花博開催期間中の山口きらら博記念公園多目的ドームで開催しました。

このシンポジウムは毎年秋に農業・農村の有する多面的機能を次世代に継承するとともに、活動組織関係者の知識と技術のステップアップを目的に開催しており、さらに今回から多面的機能支払交付金に取り組む活動組織に加え、中山間地域等直接支払交付金に取り組む集落協定の皆さんにも参加をいただき、関係団体も含め1,171名の参加がありました。

主催者である山口県日本型直接支払推進協議会の北村経夫会長のメッセージを守田宗治水土里ネット山口副会長が代読、大浦久宜中国四国農政局長と山根信之山口県農林水産部長よりご祝辞を頂きました。

オープニングでは、長門市黄波戸で結成された和太鼓「鼓波会」の迫力ある演奏をご披露いただき、事例報告として「広域化による地域づくり」のテーマで、平成29年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長賞最優秀賞を受賞された、長門市俵山地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会の三浦辰美会長から、地元NPO組織との連携による都市農村交流、地域福祉の取り組みについて紹介がありました。

基調講演では「山口の田舎は宝の山」と題して、山梨県で自ら農業に営みながら全国の農村地域の活性化の支援や人材育成の取り組みをされている、「NPO法人えがおつなげて」の曾根原久司代表理事より講演を頂きました。

また、本年度の推進協議会会長賞を受賞された、田布施町地域広域協定と吉敷畑集落協定の表彰式を行いました。



編集・発行：〒753-0079 山口市糸米 2-13-35 (県土連ビル 4F 地域支援課内)
山口県日本型直接支払推進協議会

TEL 083-933-0755 FAX 083-933-0756
<http://www.tamenteki-yamaguchi.jp>